



ひゃくねん こ

百年後、ぼくらはここにいないけど

なが え ゆう こ

長江優子作

こうだんしゃ

講談社

となりの席の草野太陽に誘われて、地理歴史部（通称チレキ）に入った健吾。自由に過ごせるまったりした空気が好きだったのに、中三になって状況が一転。熱血新顧問のせいで、地元渋谷の百年前をジオラマで作るはめに。おまけに太陽の急な転校で部長にされてしまう。

いやいや始めた健吾だったが、町の過去をふりかえる作業を通して、部員たちのこと、町の人たちのこと、そして、自分自身の心に目を向けるようになっていく。

地味系部活の熱い青春小説！

